

# 「人が集い、ともに支えあい、絆をはぐくむまち」を実現するために

令和4年度に北区が力を入れて取り組む特色ある事業をご紹介します 令和4年度の予算の詳細は北区ホームページをご覧ください

HPIはこちら▶



## 安全で安心できるまちづくり

防災マニュアルの策定や防災訓練の実施を通じて、マンション内のコミュニティの形成を支援する。

- マンションコミュニティづくりの支援 事業費:434万円

## 地域福祉と子育て支援

地域福祉コーディネーター・コミュニティソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携して支援する。不登校やひきこもり等の課題を抱える家庭に対し、スクールソーシャルワーカー等を活用し各支援機関と連携して支援する。

- 住民主体の福祉コミュニティづくりの支援 事業費:3,422万円
- 子育て支援事業 事業費:4,508万円

## 未来につながる人材育成

中学校部活動に対し、プロスポーツ選手など各分野の専門家を派遣するとともに、区内小・中学生を対象にクラシック等の文化芸術体験を通じ、本物に触れる機会を提供する。また、子どもたちの夢づくり事業として、音楽フェスティバルやダンスイベント等を本格的な施設で体験する機会を提供する。

- 部活動の支援や文化芸術体験 事業費:2,933万円

## 放置自転車対策

放置自転車の多い場所・時間帯に、啓発指導員を集中して配置し、自転車利用マナーの啓発や空いている駐輪場への案内を行うとともに、地域に応じた放置自転車にかかる諸対策を、各機関と連携して総合的かつ効果的に推進する。

- 放置自転車対策事業 事業費:2,138万円



政策推進課

☎06-6313-9976 ☎06-6362-3821

## 北区・福島区でオンデマンドバスの社会実験がスタート!!

4月1日から、北区・福島区内でオンデマンドバスの運行が開始されました。ご希望の乗車時間や乗降場所を指定していただくことで利用できる新しいスタイルの乗合バスです。

【社会実験期間】4月1日～令和5年3月31日  
【運行事業者】①Osaka Metro Group ②WILLER Group  
【運賃】大人300円、小児150円  
【予約方法】電話・アプリから予約

①Osaka Metro Group ☎0570-08-6600  
②WILLER Group ☎050-2018-0107

\*アプリはApp Store、Google Playから無料でダウンロードできます。  
①「Osaka MaaS(大阪マース)」②「mobi(モビ)」と入力してください

乗降エリア、予約・受付・運行時間帯などは事業者により異なります。詳細はホームページをご覧ください。



①Osaka Metro Group HPIはこちら▶



②WILLER Group HPIはこちら▶



\*オンデマンドバスの詳細に関するチラシを全戸配布していますので、チラシもご覧ください

☎①Osaka Metro Group ☎06-6585-1400  
②WILLER Group ☎050-2018-0107

## 北区魅力動画展

「見つけてきた!!北区魅力動画コンテスト2021」の一次審査通過作品を上映します。北区の新たな魅力を発見できるかも!?ぜひお立ち寄りください。

無料

⑧ ~4/15(金) 9:00~17:30 ※土日除く

場 区民交流プラザ(北区役所1階)

☎政策推進課(広報担当)

☎06-6313-9474

☎06-6362-3821



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 私たちのSDGs⑳

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

### ハイパー縁側

久米昌彦さん



## オフィスビルを地域に開きトークで中津の面白さ発信

中津の古いまち並みの一角にある、1965年竣工のオフィスビル。道路に面したオープンスペースで開かれる入場無料のトークイベントが「ハイパー縁側」です。

ビルを保有する総合建設会社・西田工業(株)が、ビルを地域に開く方針を打ち出して2019年にリニューアル。半地下の駐車場を改装して木製ベンチを階段状に並べ、誰でも利用できる空間を作りました。「ハイパー縁側」は、人々が気楽に立ち寄って交流できる場をめざして2019年12月にスタートしました。

ゲストスピーカーは「まちのプレーヤー」。中津を中心に、まちづくり、アート、ビジネスなど、地域に根ざした活動をする様々な人を招いて語り合います。毎回、トークの聞き手を務める久米昌彦さんは、ビル3階でコワーキングスペース「Laugh Out Nakatsu」を運営する東邦レオ(株)の社員です。

来場者はたいてい10人前後だそうです。「1度に100人集めるより、10人に10回来てもらえる場にしたい」と久米さん。その願い通り、繰り返し訪れる人が増え、差し入れに手料理持参の常連さんも。

スピーカーはここに集う人の輪から次々に登場。天満橋、阿倍野、京都にも開催場所を広げ、2年3か月で計200回を超えました。「縁側」は、ビルとまちをつなぎ、人の縁をつなぐ場ともなっています。

ビルにはクラフトビールの醸造所「中津ブルワリー」もあり、隔週土曜に仕込みや販売をしています。「ビル全体を、中津というまちの面白さをつくるコンテンツの一つにしたい」と久米さん。地域と企業を結んで新しい関係を育てています。

「ハイパー縁側」の今後の開催日程や過去の記録はホームページをご覧ください。



●SDGsとは...国連サミットで採択された17の「持続可能な開発目標」 ハイパー縁側ホームページ▶

## こども本の森 中之島

### 本と出会い、心の栄養に



子どもの好奇心をくすぐる仕掛けが随所にあります(写真/いとう写真)

中之島公園の一角にある、子どものための文化施設です。壁いっぱい並ぶ「本の森」が、まるで語り掛けるように読書の世界へ誘います。

2020年7月にオープン。北区に事務所を構える世界的な建築家・安藤忠雄さんが、「次世代を担う子どもたちに豊かな感性を育ててほしい」と設立を呼び掛けました。建物は安藤さんが自ら設計し、大阪市に寄付したものです。蔵書は約2万冊です。

メインターゲットは乳幼児から中学生。様々なジャンルの本を、「自然とあそぼう」「生きること/死ぬこと」など、12のテーマに分けて並べています。絵本や児童書に限らず、中には大人向けの本も。「『将来について考える』のテーマは、小学校高学年から中学生にぜひ読んでほしいです」と館長の伊藤真由美さん。「どんな大人になりたいかを考えることは、自分自身とも向き合う時間になるはず」と力を込めます。

親子で参加できる、読み聞かせなどのイベントも充実。閉館後の館内を巡る大人のナイトツアーや、子育てを頑張るママのための企画も実施予定と、楽しみ方が広がります。

現在、入館にはホームページで事前予約が必要ですが、毎週水曜15:30~の回は予約無しで入館できます。天気のよい日は1人1冊まで、中之島公園に持ち出して読書するのもOK。心の栄養になる、本との出会いが待っています。

時 9:30~17:00

※月曜(祝日の場合は翌平日)、蔵書整理期間・年末年始は休館

料 無料(来館日2週間前10:00~HPで要事前予約)

※水曜15:30~は予約不要

☎ こども本の森 中之島(中之島1-1-28) ☎06-6204-0808

「こども本の森 中之島」は今号で終了します。ご愛読ありがとうございました。



朝日放送アナウンサーと定期的に開催している「おはなしの森」。第10回記念の音楽会に、たくさんのお客さんが集まりました(写真/いとう写真)

Vol.11



こども本の森 中之島HP▶